

アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた 国際文化交流促進事業の概要

1. 事業の趣旨・目的

本事業は、国内外の芸術家等が一定期間滞在し、様々な交流を通して創作活動や将来の創作活動等に有益となるプログラムを提供するアーティスト・イン・レジデンス（以下、「AIR」という。）事業を支援することにより、AIR実施団体の国際的な協力関係が活発になり、国内外の芸術家等と双方向の国際文化交流が継続的に行われる状況を創出することを目的とする。

2. 事業の概要

（１）補助対象者

地方公共団体又は法人格を有する者

地方公共団体、芸術関係者、地域住民の代表者などで構成された実行委員会 等

（２）補助対象事業

① 双方向交流発展支援

海外のAIR実施団体とのパートナーシップ協定等により、国内外の芸術家等が双方へ往来し交流を行う意欲のある取組。（以下、A～Eを支援）

A) 外国人芸術家と国内芸術家等との交流を通じた滞在型の創作活動支援

B) 外国人研究者・学芸員を招へいして行う滞在型の研究・調査活動支援

C) 交換プログラム活動支援

D) AIR活動の理解促進プログラム

E) AIR活動の連携促進プログラム

② 双方向交流促進・牽引支援

海外の芸術家等を積極的に受け入れており、今後、国内外の芸術家等が双方へ往来し交流を行うことが見込まれる取組、国内外のAIR団体と連携して行われる特色のある取組。（上記、C以外を支援）

（３）補助金額

500万円、又は、以下のいずれかの要件を満たす事業は700万円

- 「双方向交流発展支援」の申請要件を満たしている団体のうち、交換プログラムの実施に加え、今後新たに交換プログラムを計画するために、外国人芸術家の招へいを行う事業
- 「双方向交流発展支援」の申請要件を満たしている団体、「双方向交流促進・牽引支援」の申請要件である「交換プログラムを計画進行中」の団体のうち、地方公共団体や民間団体（企業、助成団体等）から財政的支援を受けている事業（確定している場合のみ）
- 「双方向交流発展支援」の申請要件を満たしている団体、「双方向交流促進・牽引支援」の申請要件である「交換プログラムを計画進行中」の団体のうち、広域かつ複数の団体（AIR実施団体に限定する必要なし）と連携して任意プログラム「AIR活動の連携促進プログラム」を行う事業